

審 議 事 項

			頁
審議事項			
1 シンポジウム等	提案1	日本学術会議主催学術フォーラム「東日本大震災からの復興に向けて」	1
2 後援	提案2	国内会議	3

1	
幹事会	1 2 1

提 案

日本学術会議主催学術フォーラム「東日本大震災からの復興に向けて」の開催について

1. 提案者 科学者委員会委員長
2. 議 案 標記学術フォーラムを下記の通り開催すること。

記

1. 主 催：日本学術会議
2. 日 時：平成23年4月26日（火） 13：20～17：20
3. 場 所：日本学術会議講堂

4. 開催趣旨：

東日本大震災の被災地は、極めて広域に及んでおり、震災復興の考え方と道筋は、国土・地域の在り方を根幹的に問い直すものとなる。日本学術会議は、3月25日の第一次緊急提言に始まり、この間、原子力発電所、放射能問題、被災者救援、復興支援、震災廃棄物対策など、さまざまな提言を発してきた。

このフォーラムは、このうち、震災復興に焦点を絞り、日本における震災復興の歴史的経緯をレビューし、東日本大震災の被災状況を踏まえて、復興に向けた理念と主軸について、論議を深めることを目的とする。

5. 次 第：

挨拶 大垣 眞一郎（日本学術会議副会長）

- 報告 1 : 日本における震災復興計画・事業の歴史的経緯
中林 一樹 (明治大学特任教授)
- 報告 2 : GISでみる被災実態
碓井 照子 (日本学術会議会員、環境学委員会)
- 報告 3 : 東日本大震災の被害状況と今後の課題
家田 仁 (東京大学大学院工学系研究科教授)
- 報告 4 : 被災地から考える地域再生と復興復興
山川 充夫 (福島大学経済経営学類教授)
- 報告 5 : 都市・農村・漁村の復興とペアリング支援
石川 幹子 (日本学術会議会員、環境学委員会)
- 報告 6 : 東日本大震災と国際的人道支援システム
長 有紀枝 (ジャパン・プラットフォーム代表理事) (交渉中)
- パネルディスカッション: 震災復興への道筋
コーディネーター: 進士 五十八 (日本学術会議会員、環境学委員会委員長)
- パネリスト: 御厨 貴 (東京大学先端科学技術研究センター教授)
伊藤 和彦 (宮城県企画部部長) (交渉中)
中林 一樹、碓井 照子、家田 仁、山川 充夫、石川 幹子、
長 有紀枝
- 結び: 濱田 政則 (日本学術会議会員、土木工学・建築委員会委員長)

2	
幹事会	1 2 1

提 案

国内会議の後援

1 提 案 者 会 長

2 議 案 後援の依頼について回答すること。

3 提案理由 下記の会議について、後援の依頼があり、関係する部等に審議付託した結果を下記のとおり回答することとしたい。

記

○後援する

名 称 等	申 請 者	審議 付託先
震災にともなう海洋汚染に関する相談会 ① 主催：震災にともなう海洋汚染に関する相談会発起人一同 ② 期間：平成23年4月14日 ③ 場所：東京大学本郷キャンパス	相談会世話役代表 池田元美（日本学術 会議 SCOR 分科会委 員長）	第三部